

# 200人参加、新技術・工法を紹介

## 構造メンテ技研が技術講習会

橋梁等構造物メンテ  
ナンス技術研究会(代  
表幹事・伊藤正男和光  
物産代表取締役社長)

の現状と新技術」を開  
催した。  
この日は、施工業者  
やコンサルタント業  
者、材料メーカー、発  
注者ら約200人が参  
加。冒頭、  
伊藤代表幹  
事が「この  
研究会は北  
陸の特殊な  
環境に対応  
して各種構  
造物に貢献  
することを  
目的に立ち  
上がった。  
きょうの講  
演や紹介す  
る新技術を  
今後活用してほしい」  
とあいさつした。

技術講習会「北陸地区

北陸地方整備局の館  
敏幸道路保全企画官が  
「メンテナンスと道路  
行政における最近の話  
題」について講演し、  
予防保全を前提とした  
計画的なメンテナンス  
の実施や新技術の導入  
など、取組みが進んで  
いることを説明。新潟  
大学工学部建設学科土  
木工学の佐伯竜彦教授  
は「新潟県の塩害環境」  
と題して、薄板モルタル  
供試体を用いた飛来  
塩分量調査の分析結果  
などを発表した。



参加者 講演や工法説明を聞く

る新技術を

「メンテナンスと道路  
行政における最近の話  
題」について講演し、  
予防保全を前提とした  
計画的なメンテナンス  
の実施や新技術の導入  
など、取組みが進んで  
いることを説明。新潟  
大学工学部建設学科土  
木工学の佐伯竜彦教授  
は「新潟県の塩害環境」  
と題して、薄板モルタル  
供試体を用いた飛来  
塩分量調査の分析結果  
などを発表した。

また、会場の外では  
18社が展示ブースを設  
置し、商品をPRして  
いた。